

臨時閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成29年11月16日（木） 10：02～10：15

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣
麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）
野田聖子 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）
上川陽子 国務大臣（法務大臣）
河野太郎 国務大臣（外務大臣）
林 芳正 国務大臣（文部科学大臣）
加藤勝信 国務大臣（厚生労働大臣，内閣府特命担当大臣）
齋藤 健 国務大臣（農林水産大臣）
世耕弘成 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）
石井啓一 国務大臣（国土交通大臣）
小野寺五典 国務大臣（防衛大臣）
菅 義偉 国務大臣（内閣官房長官）
小此木八郎 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）
江崎鐵磨 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
松山政司 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
茂木敏充 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
梶山弘志 国務大臣（内閣府特命担当大臣）
鈴木俊一 国務大臣

欠席者：中川雅治 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）
吉野正芳 国務大臣（復興大臣）

陪席者：西村康稔 内閣官房副長官
野上浩太郎 内閣官房副長官
杉田和博 内閣官房副長官
横畠裕介 内閣法制局長官

閣議案件：無し

議事内容：

○菅内閣総務大臣：ただ今から、臨時閣議を開催いたします。

第195回国会における安倍内閣総理大臣所信表明演説案について、御検討をお願いいたします。

まず、内閣総理大臣所信表明演説案を西村副長官が朗読いたします。

○西村内閣官房副長官：

1 はじめに

緊迫する北朝鮮情勢、急速に進む少子高齢化。今、我が国は、正に国難とも呼ぶべき課題に直面しています。国民の信任なくして、この国難を乗り越えることはできません。

先般の総選挙の結果、衆参両院の指名を得て、引き続き、内閣総理大臣の重責を担うこととなりました。

「安定的な政治基盤の下で、政策を、ひたすらに実行せよ。」

これが、総選挙で示された国民の意思であります。

お約束した政策を一つひとつ実行に移し、結果を出していく。全身全霊を傾け、国民の負託に応えていくことを、この議場にいる自由民主党及び公明党の連立与党の諸君と共に、国民の皆様にお誓い申し上げます。

我が国の未来を切り拓くことができるのは、政策です。そして、政策の実行であります。

この国会において、それぞれの政策を大いにたたかわせ、建設的な議論を行いながら、国民のための政策を、皆さん、共に、前に進めていこうではありませんか。

2 北朝鮮問題への対応

今、我が国を取り巻く安全保障環境は、戦後、最も厳しいと言っても過言ではありません。国民の信任を背景に、積極的な外交政策を展開してまいります。

北朝鮮による我が国を飛び越える相次ぐミサイルの発射、核実験の強行は、断じて容認できません。

先般、トランプ大統領が来日し、日米同盟の揺るぎない絆を、世界に示しました。

トランプ大統領は、拉致被害者の一人ひとりの写真を、真剣なまなざしで見つめながら、御家族の思いのこもった訴えに熱心に耳を傾けてくれました。御家族も御高齢となる中で、拉致被害者の方が再び故郷の土を踏み、御家族と抱き合うその日まで、私の使命は終わりません。

北朝鮮の核、ミサイルの問題、そして拉致問題を解決する。北朝鮮にその政策を変更させなければならない。そのために、国際社会と共に、北朝鮮への圧力を一層強化してまいります。

先日のAPEC、東アジアサミットにおいても、ロシアのプーチン大統領や中国の習近平国家主席をはじめ、各国首脳と、北朝鮮問題に対する緊密な協力を確認いたしました。

日中韓サミットを早期に開催し、3か国の連携を更に深めてまいります。

北朝鮮による挑発がエスカレートする中であって、あらゆる事態に備え、強固な

日米同盟の下，具体的行動を取っていく。ミサイル防衛体制をはじめとする我が国防衛力を強化し，国民の命と平和な暮らしを守るため，最善を尽くしてまいります。

3 少子高齢化を克服する

(生産性革命)

この5年間，アベノミクス「改革の矢」を放ち続け，雇用は185万人増加しました。この春，大学を卒業した皆さんの就職率は過去最高です。この2年間で正規雇用は79万人増え，正社員の有効求人倍率は，調査開始以来，初めて，1倍を超えました。

この経済の成長軌道を確認なものとするために，今こそ，最大の課題である少子高齢化の克服に向けて，力強く，踏み出す時であります。

「生産性革命」，「人づくり革命」を断行いたします。来月，新しい経済政策パッケージを策定し，速やかに実行に移します。

人工知能，ロボット，I o T。生産性を劇的に押し上げるイノベーションを実現し，世界に胎動する「生産性革命」を牽引していく。2020年度までの3年間で「生産性革命・集中投資期間」と位置付け，人手不足に悩む中小・小規模事業者も含め，企業による設備や人材への投資を力強く促します。

大胆な税制，予算，規制改革。あらゆる施策を総動員することで，4年連続の賃金アップの勢いを更に力強いものとし，デフレからの脱却を確実なものとしてまいります。

(人づくり革命)

「人生百年時代」を見据えた経済社会の在り方を大胆に構想し，我が国の経済社会システムの大改革に挑戦します。

幼児教育の無償化を一気に進めます。2020年度までに，3歳から5歳まで，全ての子どもたちの幼稚園や保育園の費用を無償化します。0歳から2歳児も，所得の低い世帯では無償化します。

待機児童解消を目指す安倍内閣の決意は揺るぎません。本年6月に策定した「子育て安心プラン」を前倒しし，2020年度までに32万人分の受け皿整備を進めます。

どんなに貧しい家庭に育っても，意欲さえあれば，高校，高専にも，専修学校，大学にも行くことができる。そういう日本に，皆さん，していこうではありませんか。真に必要な子どもたちには，高等教育を無償化します。

いくつになっても，誰にでも，学び直しと新しいチャレンジの機会を確保する。そのためのリカレント教育を抜本的に拡充します。

こうしたニーズに応え，「人づくり革命」を牽引する拠点として，大学改革を進めてまいります。

2020年代初頭までに50万人分の介護の受け皿を整備する。その大きな目標に向かって，介護人材確保への取組を強化します。他の産業との賃金格差をなくしていくため，更なる処遇改善を進めていきます。

子育て，介護など現役世代が抱える大きな不安を解消し，我が国の社会保障制度

を、お年寄りも若者も安心できる「全世代型」へと、大きく改革してまいります。

女性が輝く社会、お年寄りも若者も、障害や難病のある方も、誰もが生きがいを感じられる「一億総活躍社会」を創り上げます。

再来年10月に引上げが予定される消費税の使い道を見直し、子育て世代、子どもたちに大胆に投資していく。消費税による財源を、子育て世代への投資と社会保障の安定化とに、バランス良く充当することで、財政健全化も確実に実現してまいります。

少子高齢化を乗り越え、我が国が力強く成長する道筋を、皆さん、共に、描いていこうではありませんか。

4 世界の成長を取り込む

インドの広大な大地を、日本が誇る新幹線が駆け抜ける。この9月、高速鉄道の建設がスタートしました。

200回を超えるトップセールスが実を結び、インフラ輸出額は、5年間で10兆円増加しました。我が国の高い技術やノウハウを世界に展開することで、少子高齢化の中でも、大きく成長できるチャンスが広がります。

自由で公正なルールに基づく経済圏を世界に拡大していく。11か国によるTPP協定の早期発効を目指します。あわせて、RCEPが、野心的な協定となるよう、交渉をリードしてまいります。

EUとの経済連携協定が、4年以上に及ぶ粘り強い交渉の末、大枠合意に達しました。人口6億人、世界のGDPの3割を占める巨大な経済圏。アベノミクスの「新しいエンジン」です。

農家の皆さんの不安や懸念にもしっかりと向き合い、安心して再生産できるよう、十分な対策を講じてまいります。水田のフル活用を図り、我が国の豊かな中山間地域、美しい故郷を守り抜いてまいります。

世界への挑戦は、手間暇かけてこしらえた質の高い日本の農林水産物にとって、大きなチャンスです。農林水産物の輸出は、本年も、5年連続で、過去最高を更新するペースで伸びています。40代以下の新規若手就農者は、調査開始以来、初めて、3年連続で2万人を超えました。

農政改革は地方創生の大きな切り札です。年内に、生産性向上に向けた、抜本的な林業改革、水産業改革のプランを取りまとめます。

農林水産業全体にわたって改革を展開し、若者が将来に夢や希望を持てる「農林水産新時代」を切り拓いてまいります。

5 災害からの復旧・復興

東北の被災地では、農地の8割以上が作付け可能となり、全ての漁港が復旧しました。原発事故で大きな被害を受けた福島では、帰還困難区域を除き、ほぼ全ての避難指示が解除されたことに続き、先月から中間貯蔵施設が稼働しました。除染土壌の搬入を進め、2020年には身近な場所から仮置き場をなくします。

被災地の復興を一層加速するため、今後とも、生業の復興、心の復興を力強く支援してまいります。

本年も、全国各地で自然災害が相次ぎました。激甚災害の速やかな指定が可能となるよう、その運用を見直します。事前防災・減災対策に徹底して取り組み、国土強靱化を進めてまいります。

6 おわりに

自由民主党と公明党が野党として過ごした、あの3年3か月。

私たちは、なぜ政権を失ったのか、痛切に反省し、国民の皆様の声に、耳を傾けるところから、スタートしました。全国各地でミニ集会を行い、国民の皆様からの厳しい声を糧に、「政策」を鍛え上げました。

そして、その「政策」の実行に、この5年間、私たちは、全力を尽くしてまいりました。

日本の未来をしっかりと見据えながら、今、何を為すべきか。与野党の枠を超えて、建設的な政策論議を行い、共に、前に進んでいこうではありませんか。

互いに知恵を出し合いながら、共に、困難な課題に答えを出していく。そうした努力の中で、憲法改正の議論も前に進むことができる。そう確信しています。

政策の実行、実行、そして実行あるのみであります。我が国が直面する困難な課題に、真正面から立ち向かい、共に、日本の未来を切り拓いていこうではありませんか。

御清聴ありがとうございました。

○菅国務大臣：この演説案は、既に総理が何度も推敲を重ねられたものであります。緊迫する北朝鮮情勢や少子高齢化という国難に対し、建設的な政策論議を行い、共に日本の未来を切り拓くことを全体メッセージと位置付けており、第4次安倍政権の発足に当たり、今後、内閣が取り組む大きな課題の方針について、可能な限りコンパクトに国民に説明するものとなっております。したがって、個々の政策を網羅的に記載していないことを御理解願います。

先日、各大臣に関する部分をお届けし、これに対する指摘につき調整させていただきました。本日の演説案はその結果を反映したものです。この案で御了解いただくようお願いいたします。

なお、案文につきましては、今後、総理による修正があり得ることをあらかじめ御承知おきください。

これをもちまして、演説案の検討を終わります。

以上をもちまして、臨時閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

御発言はございますか。

無いようですので、これをもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。